

稲生地区市政懇談会

保育所など

施設整備を早急に

稲生地区市政懇談会が、六月四日、稲生公民館（竹内淳輔館長）で開かれました。市執行部からは、浜田助役をはじめ、教育長、関係各課長ら六人、地元からは四十人

余りが出席。夜遅くまで地元の抱えている問題や市政全般について熱心な対議が行われました。

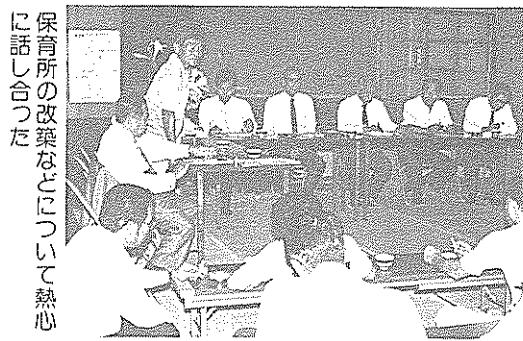
まず、竹内館長が「公民館活動の一端として市政懇談会を行います。第一回は四年前に開かれ、その後、小学校や公民館の改修など

が行われました。よりよい市政の発展のために十分話し合いをしてください」とあいさつ。

続いて、浜田助役が市政の現状を次のように報告しました。「財政難の中でもなるべく多くの事業

をしたいと考えています。行政改革にも取り組んでおり、人件費については二年くらいかけて国並に引き下げていきます。比江山問題は、今、市が抱えている一番大きな問題ですが、売却が進み、借金は十三億円くらいに減りました。もう売却できる土地はあまりないので、実質的には十億円以上借金が残ると思います。また、学校教育行政には力を入れており、教育施設の改築も進んでいますが、保育所については、まだ問題が残っています。期待に添うような行政にはなっていないと思いますが、今後とも市民サービスに心がけていきます。」

その後、公民館などの改築問題が討議されましたが、その内容は次のとおりです。



保育所の改築などについて熱心に話し合った

●稲生公民館、稲生小学校体育館、稲生保育所の改築問題はこうなっているのか。

○現在、市では義務教育施設の充実を優先しているため、公民館については年一館を原則としている。稲生公民館は市内で一番老朽化しているため、早く改築に取りかか

りたいが、西部と野田については建物がないので、まずそこをやらなければならない。稲生についてはその次にやりたいと考えている。

体育館は、狭くて危険であるので全面改築を考えているが、文部省の規程によると今の三・五倍の八百平方メートルの広さが必要なので場所の問題がある。土地の調整がつけば、六十三年か六十四年には取りかかりたい。

保育所については、老朽化が激しく、本来今年改築する予定だったが、明見保育所の方が老朽化がひどいため、先に改築することになった。移転改築を考えており、練を行いました。

まず、消火器の取り扱い方の説明を受けた後、公民館の西側にある休耕田で油火災とプロパンガス火災の消火訓練に、小雨の中、暗くなるまで真剣に取り組みました。

浜田会長は、「皆さんそれぞれ仕事を持っているので全員集まるのが難しく、今日まで訓練が延びていました。家事を預かる主婦は火を使う機会が多いのですが、いざというとき消火器の使い方がわからなかったと思います。今日の訓練を十分身につけるとともに、自分たちの地区から火災を出さないよう力を合わせて防火意識の向上に努め、クラブ員の親睦を図っていきなさい」と話していました。

市内では、現在、婦人防火クラブが三クラブ、八十六人の会員が

できれば学校の近くに設置したい。六十二年度に用地が取得できるように補正予算を組みたいと考えている。

公民館、体育館、保育所の場所をどうするのか、市有地の有効利用も考えながら地元で調整してもらいたい。

このほか、県道仁井田竹中線の交通量の問題や小久保川、市道の問題、都市計画の問題などが話し合われました。

活動しています。消防署では、市内の婦人の皆さんに防火クラブの結成を呼びかけています。詳しいことは、南国消防署防係（電話3511）までお問い合わせください。

小雨について 消火訓練

◇寺家婦人防火クラブ◇

家庭の防火は主婦の手で……。四月二十四日に結成された前浜寺家地区婦人防火クラブ（浜田信子会長、会員三十二人）の皆さんが、五月十六日、寺家公民館で消火訓

練を行いました。



油火災とプロパンガス火災を想定して消火訓練に取り組んだ